

科学研究基盤センターの紹介

大山貴之¹・今度匡祐¹・沢田義治²・三輪美代子³

(¹ 動物実験分野・² 機器分析分野・³ RI 実験分野)

1. 概要及び沿革

岐阜大学科学研究基盤センター(旧生命科学総合研究支援センター)は、ゲノム研究分野、嫌気性菌研究分野、動物実験分野、機器分析分野、RI 実験分野及び抗酸化部門の 5 分野 1 部門で構成されている。各分野は分野長を中心にそれぞれ独自の研究を行い、かつ、施設利用者の研究や実験の技術的サポートを行っている。センターの目指すところは岐阜大学における生命科学研究を積極的に推進するために、機器の共同利用の効率化と高精度化により統合的な問題解決のための研究基盤を整備し、かつ人的・知的交流も活発化して学部や地域を越えたハブとしての機能を発揮できることである。(センター年報より)

2. 管理運営組織

センターの運営は各分野が独自に行っている。センターに所属する技術職員数は、動物実験分野 2 名、機器分析分野 1 名、RI 実験分野 1 名の計 4 名であり、動物実験分野、機器分析分野及び RI 実験分野の技術的、事務的な業務をサポートしている。なお、センター全体の事務処理は、研究推進部研究推進課が行っている。

動物実験分野は動物実験施設の管理運営を主な業務としている。当該施設で動物実験を行うには、岐阜大学動物実験委員会より実験計画の承認を受ける必要がある。実験によっては、組換え DNA 実験安全委員会・病原体等安全管理委員会の承認も必要になる。

機器分析分野は柳戸地区と医学地区からなり、前処理装置を含めた機器分析機器の管理運営を主な業務としている。各装置には各部局から選ばれた教員が協力員として任命され、各協力員会議において、装置の運営、管理等について審議、決定を行っている。

RI 実験分野は RI 施設の管理運営を主な業務としている。RI 実験分野専門部会は各学部からの委員

選出、また利用者委員会は課題責任者から構成される委員会であり、施設の安全管理並びに運営について審議、実施を行っている。

3. センターにおける技術職員の業務 (動物実験分野)

- ・施設導入動物の確認
- ・動物飼育室、飼育器材等の洗浄滅菌
- ・大型高圧蒸気滅菌器の定期点検の対応
- ・施設空調の定期点検の対応
- ・汚水処理装置の定期点検の対応
- ・消耗品及び、備品の発注
- ・実験動物の飼育受託
- ・微生物モニタリング
- ・施設利用者・業者への対応

(機器分析分野)

- ・機器分析装置に関する業務(保守管理、マニュアルの作成、講習会の実施、測定支援、解析支援、修理、整備発注、依頼測定等)
- ・安全教育に関する業務
- ・施設利用者・業者への対応
- ・消耗品、備品の管理及び発注
- ・その他事務処理(協力員会議資料作成、センター年報及びセミナーテキストの作成、機器使用料の集計及び請求、運営費の執行等)

(RI 実験分野)

- ・使用記録、教育訓練、健康診断、被曝管理、汚染検査結果、作業環境測定等記録簿の作成
- ・原子力規制委員会への届出申請等書類作成
- ・RI 廃棄物処理対応
- ・教育訓練の実施及びテキストの作成
- ・施設や機器類の維持及び点検、更新対応
- ・研究計画相談対応、研究実験サポート
- ・学外放射線教育イベント対応
- ・消耗品、備品の管理及び発注
- ・施設利用者・業者への対応

4.行事・発行物

行 事:

岐阜大学公開講座

生命科学への扉を開く

～研究が皆さんの日常生活にもたらすもの～

日 時: 令和元年 10 月 27 日(日) 13:00～16:00

場 所 : 岐阜大学サテライトキャンパス

発行物: 科学研究基盤センター年報

令和元年度 31 件

5. 令和元年度活動報告

(動物実験分野)

・令和元年度動物実験分野利用者講習会

・令和元年度 SPF エリア利用者講習会

・令和元年度感染実験エリア利用者講習会

日 時: 2 ヶ月に1回実施

場 所: 医学部生命科学棟 2F セミナー室

対象者: 教職員・学生等 322 人(動物実験
施設利用者及び利用予定者)

・令和元年度実験動物慰霊祭

日 時: 令和元年 10 月 15 日

場 所: 実験動物供養碑

対象者: 動物実験施設利用者及び施設員

(機器分析分野)

・令和元年度 SPM・SEM・TEM 講習会

日 時: 令和元年 5 月 10 日

受講者: 教職員・学生等 112 名

・岐阜大学大型精密機器高度利用公開セミナー

第35回:『中学生のための目に見えない世界
の体験教室—最先端の機器に触ってみよう—』

日 時: 令和元年8月5日

受講者: 参加人数 44 名

(父兄 16 名)

第 36 回:『走査型電子顕微鏡(SEM)の使用方法
—基礎と観察実習—』

日 時: 令和元年 12 月 16 日

受講者: 教職員・学生等 49 名

・機器操作説明会(NMR) 令和元年度

開催日:

令和元年6月4日

令和元年10月28日

令和元年10月31日

令和 2 年 3 月 3 日

受講者: 学生等 21 名

・学外依頼分析

(RI 実験分野)

・教育訓練

(前期)

日 時: 平成 31 年 4 月 3 日～

令和元年 5 月 29 日

場 所: 総合研究棟Ⅱ及び RI 研究棟

受講者: 教職員・学生等 124 名(新規・継続)

(後期)

日 時: 令和元年 10 月 31 日～

令和 2 年 1 月 27 日

場 所: 総合研究棟Ⅱ及び RI 研究棟

受講者: 学生等 9 名(新規・継続)

・夏休み自由研究 ほうしゃせん霧箱工作体験

日 時: 令和元年 7 月 27 日 13:00～15:00

場 所: 総合研究棟Ⅱ1 階階セミナー室

受講者: 小学生 18 名、保護者 15 名